

- 問1 古代の権力争いに関する記録において、蘇我氏が渡来人の持つ高度な技術や知識を背景に勢力を伸ばし、対立する物部氏を退けて政治の実権を握った背景について、正しい説明はどれか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 蘇我氏は武家社会の到来を予見し、幕府を開くために伝統的な公家勢力であった物部氏を制圧した | 2. 蘇我氏は大陸の新しい宗教や文化を国家運営に活用しようとし、反対派を排除して中央集権化を進めた | 3. 蘇我氏は守護大名としての地位を確立するため、山名氏と結んで応仁の乱を引き起こした | 4. 蘇我氏は独自の神事による統治を目指し、仏教を広めようとした渡来人の一族を追放した |
|---|---|---|---|
- 問2 飛鳥時代、聖徳太子が仏教を政治に取り入れた影響を受け、各地の有力な一族が競って寺院を建立しました。このような寺院建立の主な目的や当時の状況について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|-------------------------------------|---|---|
| 1. 聖武天皇が仏教の力によって国家の災いを取り除こうと考え、全国に一律の規格で建立した。 | 2. 武士が戦乱の世を逃れ、極楽往生を願って山奥に阿弥陀堂を建立した。 | 3. 豪族が自らの経済力や政治的な権威を周囲に示すため、一族の氏寺として建立した。 | 4. 地方を治める国司が、天皇の代替わりのたびに新しい行政拠点として建立した。 |
|---|-------------------------------------|---|---|
- 問3 聖徳太子が小野妹子を中国の隋に派遣した際、隋の皇帝に宛てた国書の中に「日出づるところの天子、書を日没するところの天子に致す、恙なきや」という一節がありました。このような表現を用いて使節を派遣した聖徳太子の意図として、最も適切な説明を選んでください。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 隋の皇帝の臣下として認めてもらい、朝鮮半島での軍事的優位を確保するため | 2. 中国を上位とする従来の形式ではなく、対等な立場での国交を樹立しようとするため | 3. 隋で流行していた新しい仏教の経典を、日本へ無償で提供してもらうため | 4. 当時の中国の圧倒的な武力を背景に、日本の統治権を委ねる意思を示すため |
|--|---|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問4 7世紀初め、推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸王）は、中国の高度な制度や文化を学ぶために小野妹子らを派遣しました。このとき、小野妹子らが派遣された、南北に分かれていた中国を約300年ぶりに統一した王朝の名前として正しいものを選びなさい。 (2021年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 唐 | 2. 秦 | 3. 隋 | 4. 漢 |
|------|------|------|------|
- 問5 7世紀半ばの朝鮮半島は、北部の高句麗、東部の新羅、南西部の百済が対立していました。白村江の戦いにおいて、日本が支援した国と、日本が戦った連合軍の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|------------------------|----------------------|----------------------|
| 1. 支援した国：高句麗、連合軍：隋・新羅 | 2. 支援した国：百済、連合軍：高句麗・新羅 | 3. 支援した国：百済、連合軍：唐・新羅 | 4. 支援した国：新羅、連合軍：唐・百済 |
|-----------------------|------------------------|----------------------|----------------------|
- 問6 大宝律令のもとでの人々の負担について記した資料によると、口分田を与えられた農民には、収穫した稲の約3%を納める「租」のほかに、布や特産品を納める負担や、九州の北海岸を警備する「防人」などの兵役が課されていました。このような制度が整えられた主な目的として、最も適切なものはどれか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 公地公民の原則に基づき、国家が土地と人民を直接支配して税収や軍事力を確保するため。 | 2. 有力な農民に土地の私有を認めることで、地方の開墾を促進し、農業生産力を高めるため。 | 3. 土地を所有する権利を証明する「地券」を発行し、税制を金納に統一して財政を安定させるため。 | 4. 地主から土地を買い上げて小作人に安く売り渡すことで、農村の貧富の差を解消するため。 |
|--|--|---|--|
- 問7 聖徳太子が活躍した7世紀前後の外交や文化に関する記述として、正しいものはどれか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 元寇による危機を乗り越えるため、執権を中心とした武家政権が沿岸部の防備を強化した。 | 2. 鑑真を日本に招き、唐の進んだ律令制度を完成させるとともに、国風文化を大きく発展させた。 | 3. 倭の五王が中国の南朝に使いを送り、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権を認めるよう求めた。 | 4. 小野妹子を遣隋使として中国に派遣し、大陸の進んだ制度や仏教などの文化を積極的に取り入れた。 |
|--|--|---|--|
- 問8 大宝律令が制定されたことによる政治の変化について、その内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 天皇の命令を文書にする役所や図書の管理を行う役所が設置されるなど、大陸の進んだ政治制度が取り入れられた。 | 2. 武士が領地を支配する上での基準を示すため、裁判の公平さを期する仕組みが初めて全国的に整備された。 | 3. 氏姓制度を廃止し、地方の豪族が持っていた私有地と私有民をすべて国が直接支配する公地公民制が完了した。 | 4. 室町幕府が新しい政治の方針を示すために、鎌倉時代の慣習を基にした独自の法典を定めた。 |
|---|---|---|---|
- 問9 7世紀後半、中大兄皇子らが中心となって行われた政治改革である「大化の改新」ののち、唐・新羅の連合軍に敗れた「白村江の戦い」を経て、強力な中央集権国家を目指して8世紀初頭に制定された法令を選びなさい。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|----------|-------------|
| 1. 大宝律令 | 2. 武家諸法度 | 3. 御成敗式目 | 4. 禁中並公家諸法度 |
|---------|----------|----------|-------------|
- 問10 聖徳太子が推古天皇の摂政として行った政治改革の一つで、家柄にとらわれず、個人の才能や功績に応じて位を与え、役人に取り立てる制度の名称は何か。 (2018年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|----------|----------|
| 1. 公地公民 | 2. 十七条の憲法 | 3. 冠位十二階 | 4. 班田収授法 |
|---------|-----------|----------|----------|
- 問11 7世紀後半、倭国（日本）は友好関係にあった百済の再興を支援するため、朝鮮半島に大規模な軍を派遣しました。しかし、663年に現在の韓国付近の河口で唐・新羅の連合軍と激突し、大敗を喫しました。この出来事を何といえますか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|-----------|---------|
| 1. 白河上皇の院政 | 2. 文永の役 | 3. 白村江の戦い | 4. 壬申の乱 |
|------------|---------|-----------|---------|
- 問12 聖徳太子、鑑真、平清盛、フビライ・ハン、豊臣秀吉の5人の人物について、それぞれが歴史上注目される出来事に関わった時代が古い順に並べられているものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 鑑真 → 聖徳太子 → 平清盛 → 豊臣秀吉 → フビライ・ハン | 2. 聖徳太子 → 鑑真 → 平清盛 → フビライ・ハン → 豊臣秀吉 | 3. 聖徳太子 → 平清盛 → 鑑真 → フビライ・ハン → 豊臣秀吉 | 4. 聖徳太子 → 鑑真 → フビライ・ハン → 平清盛 → 豊臣秀吉 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
- 問13 7世紀初めの日本において、聖徳太子らが「冠位十二階」を定めた背景には、天皇中心の政治を強化しようとする意図がありました。この制度の特徴について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 豪族の身分を固定化し、その子孫が代々高い地位を継承することを保障した。 | 2. 個人の才能に応じて十二段階の冠を授けるもので、冠を授かった者一代限りの位とされた。 | 3. 遣唐使として派遣された留学生の意見を取り入れ、全ての土地と人民を天皇のものとした。 | 4. 役人が職務を行ううえでの心構えを説いたもので、儒教や仏教の考え方が取り入れられた。 |
|--|--|--|--|